

抜群の耐久性・多転用式コンクリート型枠

Xシート型枠



Xシート型枠は繰り返し使用に強い

用途

現場打ちコンクリート工事用型枠として、栈木（木材、アルミ等）を取付けることにより、広く使用できます。

- 建築用型枠（壁、柱、スラブ）
- 土木用型枠（移動型枠）

特長

プラスチックとガラス繊維の複合材で型枠として次の特長があります。

1. 耐久性に優れ、型枠の転用率が向上します。

耐久性に優れていますので合板に比較して転用回数を大幅に向上します。

2. 平滑で美しいコンクリートの仕上面が得られます。

平滑で均一な表面仕上げをしてありますので、コンクリートの表面が滑らかで緻密に仕上がります。

3. コンクリートの硬化不良を防止できます。

合板に見られる、木材の抽出成分（アク）によるコンクリート表面の硬化不良は発生しません。

4. 作業環境の改善に役立ちます。

透光性がありますので、採光による明るい現場の実現、コンクリートの流動状態の透視に役立ちます。

5. 転用時の手入れが簡単にできます。

剝離性が良いので、転用時の手入れが簡単にできます。

Xシート型枠と合板型枠との仕上面の比較



この写真はXシート型枠と合板型枠を併用した場合のコンクリート仕上面を比較したものです。Xシート型枠を使用することにより合板型枠に比べ平滑で美しい仕上がりが可能となります。

上部：合板型枠使用
下部：Xシート型枠使用

施工上の留意点

Xシート型枠は、コンクリート打放しモルタル薄塗仕上げ、下地モルタル仕上げの仕様に適した型枠です。コンクリート打放しの上に直仕上げをする場合は、打設後のコンクリート仕上り面の状態により直仕上げの可否をご判断ください。

その他、施工上の留意点は下記の通りです。

1. パネル製作

合板と同様に、栈木に釘打（本商品の釘穴ガイドを利用）してパネルを製作してください。アルミの栈木にはビス止めしてください。栈木のピッチは200mm以下にしてください。

2. 切断および穴あけ

転用率向上のためには真物で使用していただくことが理想的ですが、切断する場合はリブの中心で切断することをお勧めします。鋸、ドリルは、チップソー、メタルバイトをお使いください。

3. セパレーター穴の位置

型枠のリブ強度を維持するため、セパレーター穴はリブ交点を避けてください。

4. フォームタイの取付

板部（板厚4mm）にセパレーターを通すときフォームタイの座金が密着しませんので支障がある場合は調整用のセパ穴パッキン（別売、専用パッキン）をご利用ください。また、フォームタイを締め過ぎますと板が反りコンクリート面が盛り上がりますのでご注意ください。

5. パネルの手入れ

解体後の型枠に残着したコンクリートはウエスで拭き取るか、タワシまたはデッキブラシを使用して水洗することにより除去できます。ケレン作業は表面を損傷し、型枠寿命を短縮しますので避けてください。また、数回転用毎に剝離剤を塗布してください。

6. インサートの取付け

インサートは釘穴ガイド付きまたは接着式のインサートをおすすめします。
（例：ミカド製 ポパイ2）

7. セパレーター穴、釘穴等の補修

セパレーター穴の補修は市販のプラ栓をご使用ください。セパレーター穴、インサート釘穴などは粘着シール（別売）による補修もできます。

8. スラブ型枠解体時の落下防止

剝離性がよいためスラブ解体時に支保材を外したとき、パネルが落下する恐れがあります。これを防止するため、予めハット釘を（3～5本）打ち込んで使用すると効果的です。

9. 保管に関する注意

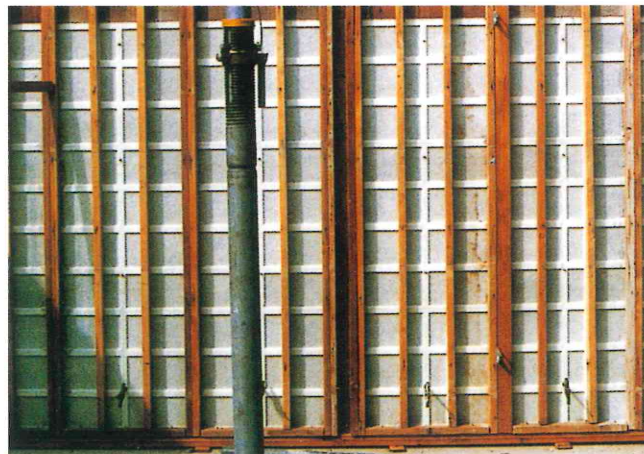
樹脂は直射日光の照射により老化しますので。保管中は直射日光の照射を避けるためシート等を被せて保管してください。

高強度プラスチック型枠。

施工例



パネルの組立



壁面の施工



スラブの施工



柱の施工



フォームタイの取付

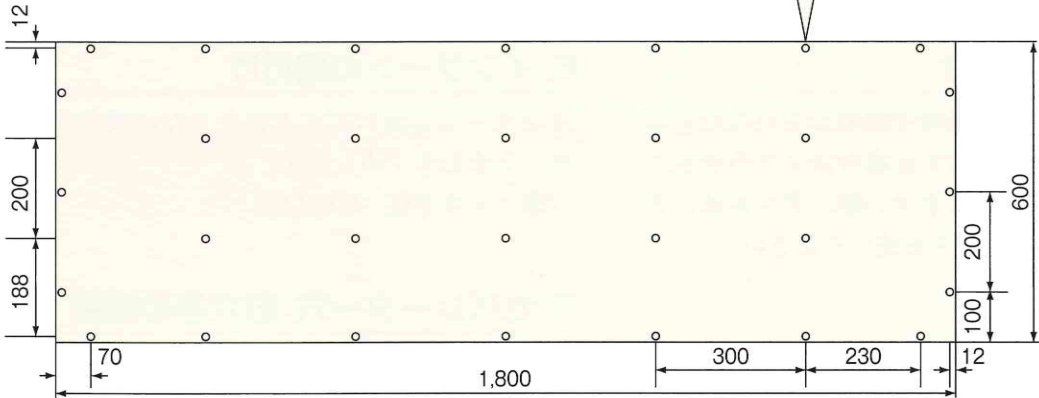
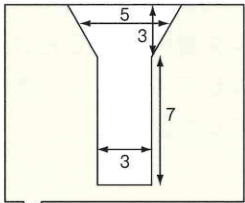


コンクリートの流動状態

製品仕様・外観

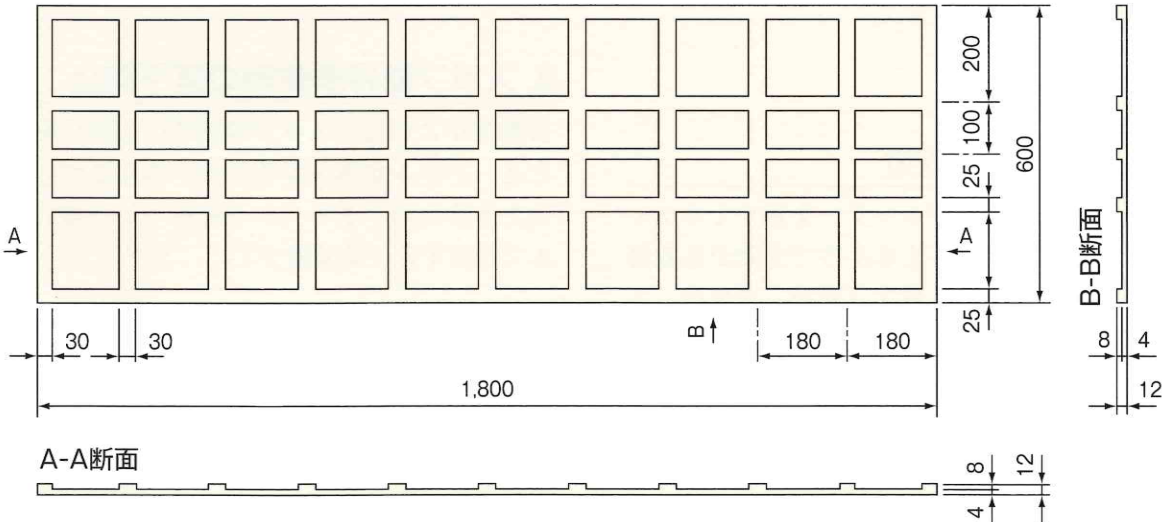
幅 (mm)	600
長さ (mm)	1,800
厚さ (mm)	12
重量 (kg)	8.8
ヤング率 (kg/cm ²)	53,000
断面2次モーメント (cm ⁴)	縦 0.0565 横 0.0517
断面係数 (cm ³)	縦 0.0685 横 0.0616

表面 (桟木取付け用の釘穴ガイド30ヶ所) ※鍵穴ガイド穴径φ3mm



裏面

B ↓



これらの数値は代表値であり、保証値ではありません。

安全上のご注意



警告

◎ 滑り注意

- ・本製品は滑りやすいので、施工後の歩行及び傾斜面での施工・運搬又は積み降ろしに注意して下さい。
- ・表面に水や油が付着すると滑りやすくなります。作業時は付着物を取り除き、滑りにくい靴を履くなど注意して下さい。
- ・一般の方及び工事関係者が通行する場所では、施工者が責任をもって「滑り注意」等の掲示をお願い致します。



警告

◎ 製品端部及び切断面注意

- ・製品端部及び切断面は鋭利な場合もありますので、保護具等の着用をし取扱いに注意して下さい。



警告

◎ 運搬の注意

- ・本製品自体が滑りやすい為、運搬時は必ずロープ等で十字方向で縛って下さい。



警告

◎ 火気・高温注意

- ・ポリプロピレンを主原料とした製品なので高温での長時間使用や、火もしくは高温になる熱器具等のそばでの使用はしないで下さい。変形したり火災の原因となることがあります。



警告

◎ 保管について

- ・保管の際には覆いをかけて直射日光を避けて下さい。長期にわたり直射日光を浴び続けると表面にガラス繊維の浮き出しが生じる場合があります。表面にガラス繊維の浮き出しが生じた場合は使用をひかえて下さい。
- ・本製品自体が滑りやすい為、段積み等の保管方法に注意して下さい。



警告

- ・この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物理的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。



MITSUBISHI CHEMICAL
ADVANCED MATERIALS JAPAN

営業部 〒510-0051 三重県四日市市千歳町3番地

TEL 059-352-3221

FAX 059-352-3235

代理店